

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工 芸 学 部 : /School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有 : /Available
学域等/Field	/全学共通科目 : /Program-wide Subjects	年次/Year	/3 年次 : /3rd Year
課程等/Program	/言語教育科目(2023 年度以前入学者) : /Languages(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期 : /First term
分類/Category	/ドイツ語 : /German	曜日時限/Day & Period	/木 2 : /Thu.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10014202			
科目番号 /Course Number	10060363			
単位数/Credits	1			
授業形態 /Course Type	演習 : Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	ドイツ語上級 A : Advanced German A			
担当教員名 / Instructor(s)	/(南 剛) : MINAMI Tsuyoshi			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
				○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	下の大括弧内は、旧来のもの。「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください（「最低」だけ除く）。[大学で外国語を学ぶ実用は、必要となったときに辞書をひきつつ文献を読むことができる能力をやしなうことである。ドイツ語を読むことができる基本的能力をやしなうことを、この授業の最大の目的とする。音読重視（基礎習得の近道）。その外国語の表現能力の極致を駆使した、しかもそれにより、思考がなされたかたちとして論理理解である、文学作品を、教材として扱うことがそのためには最も効果的である。（ただし、ここでは、むしろ、文化講座的な、学生の負担の少ないいどのドイツ語に、とどめる。） ドイツ語の文献テキストを辞書を引きながら読めるようになることを目標とする。ドイツ語のほんとうの実力（音読を中核とし会話を初歩の楽な手段としての文法と講読の知的実力）の涵養と、現代日本社会の概念的枠組みを作り上げている唯一のものである西欧近代というものの理解を血肉化することと、ドイツ語日本語による文学哲学社会についての広範な必要な読書を指導しつつゲゼルシャフトリヒェ・デバッターができる能力を教室内でなくのちの社会内で保証することと、の三座標系を、ドイツ語学習そのもののほんらいあるべき内実として、立体的有機的複合的にめざす。複合の到達の具体指針は、回を重ねての内田理解の進展。 必要な新書本 2 冊を正規教科書の 2 冊目 3 冊目として毎時後半をその輪読に振りむける（前期はその半分、内田のみを授業では使用）。ガイダンス回音読特別回を含め全 15 回。（試験週を含め全 16 週。）]
英	Die Ausgezeichnetsten erhalten durch Leiden Freude.

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	ドイツ語の、つづり字の読みの規則の習得。 ドイツ語の、語順の規則の習得。 人称代名詞、指示代名詞、所有代名詞、関係代名詞等の指すものの判断や、その格等の判断。

英	Students should become acquainted with the regularity between spellings and pronunciations. Students should become acquainted with basic vocabulary. Students should become acquainted with the regularity of word orders. Students should become able to do tasks of compositions using of their knowledge of grammar and to make appropriate German sentences. Students should acquire basic reading abilities necessary for reading articles of German magazines, newspapers, etc.
---	--

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	ドイツ語文法・ドイツ語語法を、かなりよく理解できる。 ドイツ語文法・ドイツ語語法を、あるていど理解できる。 ドイツ語文法・ドイツ語語法を、あまり理解できない。 ドイツ語文法・ドイツ語語法を、ほとんど理解できない。
英	Befriedigende Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion Ausreichende Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion Mangelhafte Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion Ungenügende Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	ガイダンス回	ガイダンス ドイツ語は前期後期合わせて6つのテキストだけ。文化講座的な、学生の負担の少ないていどのドイツ語に、とどめる。文学・哲学・音楽をめぐるテキスト。プリント15枚。それを前期本体回10回・後期本体回10回の計20回に、振り分けて用いる。毎回、それプラス内田本。内田本は進度がはっきりと決まっている。
	英	Guidance	Guidance
2	日	本体回1回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中1回目、内田第一章
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 1 2) Uchida I
3	日	本体回2回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中2回目、内田第二章
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 1 2) Uchida II
4	日	本体回3回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中3回目、内田第三章前半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 2 2) Uchida III
5	日	特別回1回目	内田特別回
	英	Special Seminar	Special Seminar
6	日	本体回4回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中4回目、内田第三章後半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 2 2) Uchida III
7	日	本体回5回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中5回目、内田第四章前半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 3 2) Uchida IV
8	日	本体回6回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中6回目、内田第四章後半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 3 2) Uchida IV
9	日	特別回2回目	内田特別回
	英	Special Seminar	Uchida III, IV
10	日	本体回7回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中7回目、内田第五章前半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 4 2) Uchida V
11	日	本体回8回目	ドイツ語プリント15枚(20回用)中8回目、内田第五章後半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 4

			2) Uchida V
12	日	特別回 3 回目	内田特別回
	英	Special Seminar	Uchida V
13	日	本体回 9 回目	ドイツ語プリント 15 枚 (20 回用) 中 9 回目、内田第六章前半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 5 2) Uchida VI
14	日	本体回 10 回目	ドイツ語プリント 15 枚 (20 回用) 中 10 回目、内田第六章後半
	英	Reading and Seminar	1) "DACH" Lesson 5 2) Uchida VI
15	日	特別回 4 回目	内田特別回
	英	Special Seminar	Uchida VI

履修条件 Prerequisite(s)	
日	下の太括弧内は、旧来のもの。「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください(「最低」だけ除く)。24 年度 1 回生授業では成功しました。 【履修の鉄則】 (i) ヨーロッパ語の第二外国語を履修しないと、英語の習得もままならぬのにどころでなく英語使用国際人としては話にもなりません。それによってのみ近代の理解ができますが、米英や英語の理解すらこの対照軸を得て初めて可能となります(米英の中等教育修了者全員もこれが自己対象化観点です)。 (ii) ドイツ語は、しっかり努力をすれば GPA のために望ましい高得点がむしろ得やすい科目ですから、ふるって履修してください。 (iii) ドイツ語は、毎回の授業に座っていさえすればいいというのとちがって積極的に参加すれば、単位も確保しやすい科目で、同時に大学の学問のレベルでの、集中と努力のよき伴侶となります。]
英	[Hard-and-fast rule of study] (i) It is a must for an English-speaking Japanese active in an international arena to use a second European language at a practical level of proficiency because it will work as a clue to more deeply understand not only the English language but also the American and British modern societies. This view may be shared by the citizens in these two countries who have finished their mid-level education. (ii) Since German is a subject in which students, as a result of their endeavor, may be able to mark a high GPA score, they are invited to take the course positively. (iii) This, however, does not mean that you should only attend the German lessons calmly but it requires you to positively take part in them. At the same time, studying German will provide you with synergetic effects along with other college studies, which will revitalize your concentration and endeavor.

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	下の太括弧内は、旧来のもの。「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください(「最低」だけ除く)。24 年度 1 回生授業では成功しました。 【受講の鉄則】 (i) 第二外国語の授業は毎回の授業に座っていさえすればいいというのとちがって積極的に参加しなければならないし授業終了時刻が経過すれば頭がすでに余事へ切り替わってしまうようなのではない、他科目以上の各人の集中と努力を要する。 (ii) 第二外国語の文法はしくみの積み重ねだから、そこまでに習った内容はかならず論理的な前提であると考えること。 (iii) 第二外国語は慣れで身につけたいところ時間が間尺に合わないので、重要な点をほぼすべて頭で理解すること、だがさらに逆に、最も重要な点は、頭でなく体にたたき込み口と手の練習で口と手がソラで言え書けるまでにすること。]
英	[Hard-and-fast rule of taking the course] (i) The second foreign language class is not something that allows a student to just sit there during the lessons but urges him/ her to positively take part in them. The student will have to maintain greater concentration and efforts than in any other

	subjects so that he/she may not forget all about the lesson upon its ending. (ii) The grammar of a second foreign language may become understandable step by step. So, remember that what is being taught in the current lesson is logically continued from what you learned in the previous lesson. (iii) It may be ideal to master a second foreign language by getting accustomed to it but it is often impossible to do so due to a shortage of time. So, you will need to understand all the key points in mind and practice what you learned by using your mouth and hands until you can speak and write without reviewing the textbook.
--	---

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	内田義彦『資本論の世界』(岩波新書) ISBN:4-00-411069-6、廣松渉『今こそマルクスを読み返す』(講談社現代新書) ISBN:4-06-149001-X ／ 参考書
英	• Textbook: "Shihonron no Sekai"(The World of the Capital) Written by Yoshihiko Uchida, Iwanami-Sinsho, ISBN:4-00-411069-6 • Textbook: "Imakoso Marx wo yomikaesu"(The World of Marx now) Written by Wataru Hiromatsu, Kodansha-Gendai-Sinsho, ISBN:4-06-149001-X

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	成績評価については、学期末試験（５０％）・平常点（５０％）などに基づくものとする。 ドイツ語４単位既得者が学期末試験に出席しないばあい、平常点をそのまま学期末試験の得点としても採用する。
英	Grades will be based on exam results (50%) and class performance (50%).

留意事項等 Point to consider	
日	「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください（「最低」だけ除く）。２４年度１回生授業では成功しました。 ２０２４年度から、１回生の初級授業が週２回でなく週１回になり、教師側も構成の組み替えを工夫しなければなりません。およそ場面として「お教えできる内容についての考察の進展（本欄への近年の記述文字）による、知的興味の緊張感（私の元々の授業スタイル）」どころでなく、和気藹々とでないと、授業構想が不可能であるようです。基本的には「とりあえずはただただ受講者が楽しく、楽な練習をできる」かぎり、あれこれ西欧近代と現代との重要事も、毎回、お示しします。
英	Thorough preparation and review are required for each class.